

SJクイズ

[問題編]

Q₁

2025年の自転車乗用中の交通事故死傷者数を年齢層別にみると、最も多いのは10歳代（10～19歳）ですが、その割合は何%でしょう？

- ①約17% ②約27% ③約37%

Q₂

自転車に関与した交通事故（2019～2023年の合計）を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①車両単独 ②左折時衝突 ③出会い頭衝突

Q₃

自転車（第1当事者※）とクルマ（軽・普通乗用車）との出会い頭事故（2019～2023年の合計）を法令違反別にみると、信号機のある交差点では「信号無視」が約80%を占めています。信号機のない交差点で最も多いのは次のうちどれでしょう？

※交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。

- ①一時不停止 ②安全不確認 ③交差点安全進行義務違反



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

SJ クイズ ?

[解答・解説編]

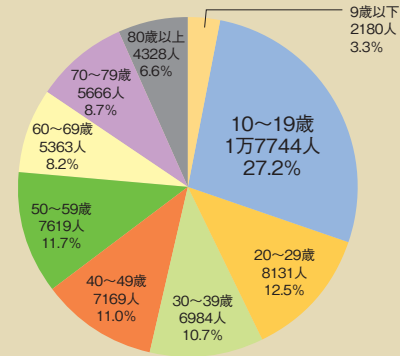
Q 1 解答 ②約27%

<解説>

2025年の自転車乗用中の交通事故死傷者数（6万5184人）を年齢層別にみると、10歳代（10～19歳）は27.2%と4分の1以上を占めている。前年と比較して全年齢における自転車乗用中の交通事故死傷者数は0.5%減少したが、10歳代では1.0%増加した。

中学校や高校に入学後、通学に自転車を利用するケースが増えることから、10歳代の死傷者が際立って多いと考えられる。自転車を利用する機会が増える中高生のタイミングこそ、正しい乗り方や交通ルールについてしっかりと学ぶことが大切である。

●自転車乗用中の年齢層別・交通事故死傷者数(2025年)



※()内の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計でも100とはならない。
出典：警察庁資料

Q 2 解答 ③出会い頭衝突

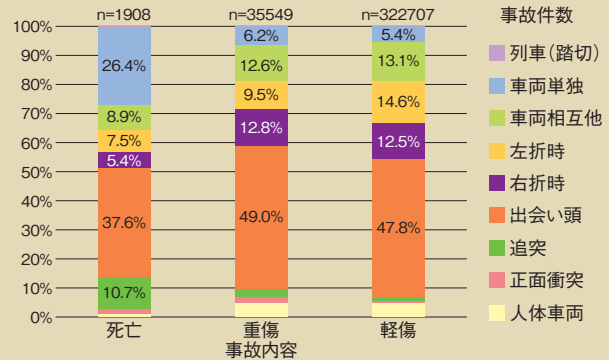
<解説>

自転車に関与した交通事故（2019～2023年の合計）を事故類型別にみると、最も多いのは出会い頭衝突である。死亡、重傷、軽傷、いずれの傷害程度においても最多となっている。

また、出会い頭事故における自転車関与率を地域別にみると、全国平均は42%で、東京は71%、大阪は66%となっている。

全国的に多く発生しているため、自転車利用者は交差点の手前でスピードを落としたり、見通しの悪い交差点では止まって左右の安全を確認してほしい。また、交通量の多い都市部では、より一層の注意が必要である。

●自転車関与事故の傷害程度別・事故類型別の構成率(2019～2023年)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「イタルダイナフォメーションNo.149」

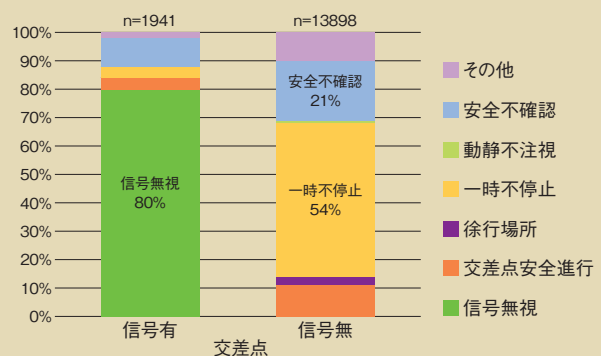
Q 3 解答 ①一時不停止

<解説>

信号機のない交差点における自転車の法令違反は「一時不停止」が54%と最も多い。一時停止の標識がある場所では必ず止まって、左右の安全を確認して進行しなければならない。走り慣れた道だから危険はないと思込み、止まらずに交差点に進入すると、出会い頭事故につながる場合がある。2026年4月1日から一時不停止は交通反則通告制度（青切符）による取締りの対象（16歳以上）となる。一時停止の標識がある場所での通行方法をはじめとした自転車の乗り方やマナーについて改めて見直してほしい。

一方、ドライバーやライダーは信号機のない交差点を通行する時、自転車が一時停止や安全確認をせずに飛び出してくるかもしれないと予測しておくことが必要だ。

●乗用車との出会い頭死傷事故における自転車(第1当事者)の法令違反構成率(2019～2023年)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「イタルダイナフォメーションNo.149」

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

